

1. 基本情報

- (1) 国名：ウズベキスタン共和国（以下、「ウズベキスタン」）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ウズベキスタン全土
- (3) 案件名：園芸作物バリューチェーン強化計画（Project for Horticulture Value Chain Promotion）
- (4) 計画の要約：本計画は、仲介金融機関（Participating Financial Institutions, 以下「PFIs」）を通じた園芸作物の生産・加工に従事する農家及び農業関連企業へのツーステップローンの供与並びに PFIs の能力向上支援及びエンドユーザーへの事業計画策定・営農支援により、金融アクセスの改善を図り、もって農業セクターの発展を通じた同国の経済成長の促進と格差の是正に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

ウズベキスタンは天然ガスやウラン、レアメタル、レアアース等の天然資源に恵まれており、同国への支援は、我が国の資源エネルギー外交の観点からも戦略的に重要である。また、ウズベキスタンは伝統的に親日的であり、我が国の国連安保理常任理事国入りを一貫して支持するなど、国際場裡において我が国への協力に好意的である。

ミルジヨーエフ大統領は地方開発、特に農業分野に関心が高いことから、同国政府要人より、機会を捉え本件計画への強い期待が表明されている。2014年7月に開催された「中央アジア+日本」対話・外相会合において、「中央アジア+日本」対話の枠組みで農業分野地域協力ロードマップが採択され、農業協力は優先的協力テーマのひとつとなっていることから、本計画の実施を通じて二国間関係の強化に寄与することが外交的にも重要である。

- (2) 当該国における農業セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

同国の農業は、旧ソ連時代から綿花生産を中心に発展し、現在は農業セクター従事者が総就業人口の約3割、GDPの25%（2016年）を占める主要産業である。特に、綿花は農業生産量の6割を占める主要作物である（生産量は世界第6位、輸出量は世界第5位）。しかしながら、綿花に依存する農業は国際市況価格の変動や天候リスクに対して脆弱であるため、当国政府は近年、野菜（じゃがいも、トマト等）や果樹（りんご、ぶどう等）といった園芸作物の生産への転換やバリューチェーンの強化等により、農作物の多様化や輸出力強化を目指している。これを反映し、2005年以降毎年園芸作物の生産高及び生産額は増加傾向にあり、ロシア、カザフスタン等周辺国への園芸作物や加工品の輸出も増えている。また園芸作物分野の振興は、地方の雇用創出やロシア等から戻ってきた出稼ぎ労働者の雇用の受け皿としても貢献している。

上記状況を受け、特に、園芸作物の生産に従事する農家や加工、流通に従事する

農業関連企業を中心に、生産投入資材や加工・貯蔵、流通に適した機械や施設の需要が高まっており、肥料等農業資材及び農業機械等の購入並びに灌漑、温室、集出荷貯蔵施設及び処理加工施設等の整備について、幅広い資金ニーズがある。一方、通常の銀行融資は高金利かつ短期貸付が多く（現地通貨の短期融資は平均 14%程度）、園芸作物の生産サイクルやキャッシュフローと合致した中長期資金貸付は不足しており、複数の援助機関が PFIs を通じ園芸作物関連の農家・農業関連企業に設備投資・運転資金を供与するツーステップローン事業を実施しているものの、旺盛な資金需要に十分に対応できていない。

同国政府は、2017 年に発表した大統領令「ウズベキスタンにおける更なる発展のための戦略（2017-2021 年）」の中で、「雇用促進」や「農業の多角化強化」、さらに「生産性の高い農業機械の導入」や「農産物の保管・輸送・販売等のためのインフラ整備の促進」を掲げており、本計画は同国政府の優先事業として位置付けられる。また、我が国の対ウズベキスタン国別開発協力方針（2017 年）では、基本方針「経済成長の促進と格差の是正に向けた支援の実施」の下、重点分野として「社会セクターの再構築支援」を掲げており、本計画はこうした協力方針に合致する。

3. 計画概要

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) ツーステップローン

イ) コンサルティング・サービス：実施機関の実施能力強化、PFIs の能力向上支援、エンドユーザーへの事業計画策定・営農支援等

② 期待される開発効果：金融アクセス改善や経営能力強化を通じた農家、農業関連企業の総売上高の増加及びPFIs の能力向上審査能力強化、リスク管理能力強化等

③ 借入人：ウズベキスタン政府（The Government of the Republic of Uzbekistan）

④ 計画実施機関／実施体制：地方復興庁（Rural Restructuring Agency）

⑤ 他機関との連携・役割分担：協力準備調査にて確認する。

⑥ 運営／維持管理体制：地方復興庁及び PFIs

(2) その他特記事項：

● 他援助機関の対応：国際農業開発基金はスルハンダリア州、世界銀行は 9 地方、アジア開発銀行は同国全土（13 地方）を対象に園芸作物のバリューチェーンに従事する農家や農業関連企業に対するツーステップローン事業を実施中。

● 環境社会配慮 カテゴリ分類：FI

本計画は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上、JICA の融資承諾前にサブプロジェクトが特定することができず、かつそのようなサブプロジェクトが環境への影響を持つことが想定されるため。

● ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）に該当し協力準備調査にてジェンダー主流化ニーズを確認する。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

マレーシア「中小企業育成計画」の事後評価結果では、複数の金融機関を並列的に介在させる場合、事業規模を一律とせず、各機関がターゲットとするエンドユー

ザーの資金需要や規模に応じて弾力的に取り扱うことが有効との教訓を得ている。また、スリランカ「貧困緩和マイクロファイナンス計画」の事後評価結果では、融資を提供するのみならず各種啓発活動・研修・助言等の能力開発の徹底が効果発現に重要との教訓が得られている。本計画では、エンドユーザー選定基準を工夫することで、サブローンへのアクセス向上を図ることを検討するとともに、農業の生産性向上、作物の多角化等に資する農業技術トレーニングも合わせて実施することを検討する。

以 上

[別添資料] 地図

園芸作物バリューチェーン強化事業 地図



出所 : United Nations, Cartographic Section, Department of Field Support